主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　2

神の中心思想、神の心の願い、神のエコノミーの目標、宇宙の意義を知る

聖書：サムエル下 7:12-14 前半．マタイ 16:18．啓 3:18．詩 51:1-19．エペソ 3:16-19

Ⅰ．わたしたちは目薬としての油塗る霊を買って自分の目に塗り、神の中心思想、神の心の願い、神のエコノミーの目標を見なければなりません。それらは永遠にわたる宇宙の意義、人の意義、人の心の中にある切望、渇望、願望の成就です――啓 3:18．伝 3:11．ハガイ 2:7．参照、創 3:9：

Ａ．わたしたちが目薬としてのその霊を買うのは、霊の中で貧しくなることによってです。それは進んで無となり、何者ともならないで、自分が何も持たず、何も知らず、無であることを認識し、むなしい器となって、召会を建造するためにキリストで満たされるようにすることです。これは真に自己を否むことであり、今日キリストを最も良く享受し、千年期の統治においてキリストを最高に享受するためです――マタイ 5:3．16:18, 24-26．25:21, 23．19:24．ピリピ 2:5。

Ｂ．わたしたちがその霊を買うのは、神の輝く言葉の実際としての真理を買い、火によって精錬された神の豊富としての金を買い、白い衣を買って光の武具としてのキリストを着せられることによります――箴 23:23．啓 3:18．ルカ 12:21．ローマ 13:11-14。

Ⅱ．サムエル下第７章 12 節から 14 節前半は、神の中心思想、神の心の願い、神のエコノミーの目標、宇宙の意義が神の建造であることを啓示します。神の建造は神性と人性のパースンです。神の建造は神・人です――創 2:22．マタイ 16:18．ローマ 1:3-4．Ⅰテモテ 3:15-16．使徒 9:4-5, 15．ヨハネ 14:23：

Ａ．神の建造とは、神が人と成ったのは人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということです：

１．キリストは彼の人性において結合するはしごとなって、天（神）と地（人）を結合して一にし、ベテル、神の家を建造しました――創 28:12-17．ローマ 1:3-4。

２．神は受肉を通して人と成りました（天を地にもたらした）。人は造り変えを通して神となります（地を天に結合する）――ヨハネ 1:1, 51．ローマ 1:3-4．5:10．8:28-29．Ⅱコリント 3:18。

Ｂ．福音書における神の建造は、個人の神・人、イエスであり、彼は神の幕屋また神の宮です――ヨハネ 1:14．2:19。

Ｃ．使徒行伝と書簡における神の建造は、団体の神・人、新しい人、召会であり、肉体における神の団体の現れ、生ける神の家、三一の神の傑作です――使徒 9:4-5．Ⅰテモテ 3:15-16．エペソ 2:10, 15, 21-22．コロサイ 2:19．3:10-11。

Ｄ．啓示録における神の建造は、究極の、究極的に完成された、大いなる団体の神・人、新エルサレム、「花嫁の建造」、神が神の幕屋としての人の中に建造され、人が神の宮としての神の中に建造された永遠の相互の住まいです――啓 21:2-3，9-10，22。

Ｅ．神がご自身を人の中に建造し、人を神の中に建造しているのは、神の家としての召

会を建造して神を表現し、神の王国としての召会を建造して神が統治し、人に対する彼の当初の目的を成就するためです――創 1:26．マタイ 16:18-19．ローマ 14:17．ヨハネ 14:23．ルカ 17:21．ダニエル 2:35, 44。

Ⅲ．わたしたちは神の農場であり、キリストは命の種、ダビデの子孫であって、わたしたちの中に植えられ、わたしたちの中で成長して、わたしたちは造り変えられ、「息子化され」、神の建造のための尊い材料となります――Ⅰコリント 3:9-12．サムエル下 7:12-14 前半：

Ａ．種が土壌に埋められることによって死ぬなら、やがて芽を出し、生長し、復活の中で花を咲かせます。復活の中でキリストは「花を咲かせて」命を与える霊と成り、命の種、ダビデの子孫としてのご自身をわたしたちの中にまきました――ヨハネ 12:23-24．Ⅰコリント 15:31．使徒 13:33．Ⅰペテロ 3:18．マルコ 4:14, 26-27。

Ｂ．聖書によれば、成長は建造と等しいのです。これが起こるのは、わたしたちの内側の命の種であるキリストの成長によります――Ⅰヨハネ 3:9．コロサイ 2:19．エペソ 4:15-16。

Ｃ．神の御子の命がわたしたちの霊の中に植えられました。今やわたしたちは、地にまかれた種のように、死と復活の過程、砕きと建造の過程を経過しなければなりません――ローマ 8:10．ヨハネ 12:24-26：

１．ダビデは砕かれてソロモン、すなわち命の建造という結果になる生活を表徴します：

ａ．召会が今日、建造されるべきであるなら、わたしたちは神の心にしたがった生活、進んで十字架の学課を学ぶ生活、完全に暴露されへりくだった生活、神のあわれみと恵みを知る生活、それ自身の人の性質に信頼せず、誇らない生活をしなければなりません――使徒 13:22。

ｂ．ダビデは極みまで失敗し、悔い改めて罪を告白し、神は彼を赦しました。そして彼はソロモンを生みました。ですから、ソロモンは人の違犯と悔い改め、プラス神の赦しの結果です――サムエル下 12:1-13, 24．詩 51:1-19。

ｃ．わたしたちが悔い改め、自分の罪を告白し、神に彼のきよめを求める者であるなら（Ⅰヨハネ 1:9）、神の家でシオンの建造のため、キリストの勝利を得た花嫁のために、キリストにある神の享受を持つでしょう――詩 51:18。

２．ダビデは、受肉から十字架までのキリストを予表します。ソロモンは、復活から御座について再来するまでのキリストを予表します。今日、命を与える霊としてのキリストは、真のさらに大いなるソロモンとしてわたしたちの霊に内住し、ご自身をわたしたちの中に建造し、わたしたちに対して、またわたしたちを通して知恵の言葉を語り、神の真の宮としての召会を建造しています――マタイ 12:42．列王上 10:23-24．Ⅰコリント 12:8．14:4 後半。

Ｄ．エペソ第 3 章 16 節から 19 節は、三一の神がわたしたちの中に入って来て、要素としてのご自身をもって、また材料としてのわたしたちからのものをもって建造する働きを行なっていることを啓示します。これは、マタイ第 13 章の種をまく者のたとえで例証されます：

１．主は命の種としてのご自身を人の心、土壌の中にまいて、成長し、彼らの中に生

き、彼らの内側から表現されるようにしています―― 3 節。

2．種は土壌の中にまかれ、土壌の栄養分をもって成長します。その結果、産物は種と土壌の両方からの要素の構成です―― 23 節。

3．わたしたちは内側に、神によって創造された栄養分を持っています。それは彼がわたしたちの中に入って来て、わたしたちの中で成長するための備えです。神は人の霊と人の栄養分を、神聖な種のための土壌である人の心と共に創造しました――参照、Ｉペテロ 3:4。

4．わたしたちが命の中で成長する割合は、神聖な種にかかっているのではなく、わたしたちがどれほど多くの栄養分をこの種に供給するかにかかっています。供給する栄養分が多ければ多いほど、種はますます速く成長し、ますます増殖します――マタイ 5:3, 8．参照、詩 78:8：

ａ．もしわたしたちが魂の中に、天然の人の中にとどまっているなら、神聖な種を成長させるための何の栄養分もありませんが、内なる人の中へと増強されるなら、そしてわたしたちの霊に注意を払い、霊を訓練するなら、栄養分が供給され、キリストはわたしたちの心の中にご自身のホームを造ります――エペソ 3:16-19．ローマ 8:6．Ｉテモテ 4:7．参照、ユダ 19 節。

ｂ．命の種としての主を内側で成長させて、わたしたちの完全な享受としようとするなら、わたしたちは絶対的に主に開き、彼と協力して、徹底的に心を対処しなければなりません――マタイ 13:3-9, 19-23。

5．一方で、神はわたしたちを要素としてのご自身をもって増強し、もう一方で、わたしたちは栄養分を供給します。この二つを通して、キリストにある神は彼の内在的な建造、彼の家の建造を、わたしたちの全存在の中で完成します。

©2006 Living Stream Ministry